

1 反語その1

<書き下し文・意味>

(1) いづくんぞ

王侯将相寧んぞ種有らんや (王侯や將軍・宰相の位がどうして血統で決まっているものか、いや、決まっていない)

<句法解説>

寧〜乎は、反語の句法。「いづくんぞ〜んや」と読み、「どうして〜か、いや〜でない」と訳す。

(2) あに

豈に千里を遠しとせんや (どうして、千里の道のりも遠いと思うだろうか)

豈〜哉は、反語の句法。「あに〜んや」と読み、「どうして〜しようか、いや〜しない」と訳す。

(3) またよろこばしからず

学びて時に之を習ふ、亦た説しからずや (学問をして機会あるごとに復習するのは、なんとうれしいことではないか)

不[二]亦〜[一]乎は、反語の句法。「また〜ずや」と読み、「なんと〜ではないか」と訳す。

(4) あに

名は豈に文章もて著はれんや (どうして詩文などによって名声を得ることができようか、いやできない)

豈〜哉は、反語の句法。「あに〜んや」と読み、「どうして〜しようか、いや〜しない」と訳す。

(5) なからんや

豈に能く怪しむこと母からんや (どうして怪しまずにいられるだろうか、いや怪しまずにはいられない)

豈〜哉は、反語の句法。「あに〜んや」と読み、「どうして〜しようか、いや〜しない」と訳す。

2 反語その2

(6) ひとり

独り廉將軍を畏れんや (どうして廉將軍をおそれたりしようか)

独〜哉は、反語の句法。「ひとり〜んや」と読み、「どうして〜か、いや〜でない」と訳す。

(7) ひとり

独り安くんぞ黙然として已むことを得んや (どうしてだまってやめることができようか、いやそんなことはできない)

独〜哉は、反語の句法。「ひとり〜んや」と読み、「どうして〜か、いや〜でない」と訳す。

(8) あへてはしらざらんや

百獸の我を見て敢へて走らざらんや (あらゆる獸が私を見てどうして逃げ出さないだろうか、いや逃げ出すに違いない)

敢不[レ]〜乎は、反語の句法。「あへて〜ざらんや」と読み、「どうして〜しないことがあるか、いや〜する」と訳す。

(9) うらみをのべんや

長者問ふ有りと雖も、役夫敢へて恨みを伸べんや (あなたさまがおたずねになっても、私がどうして恨みの気持ちを述べられましようか、いいえ述べられません)

敢〜乎は、反語の句法。「あへて〜んや」と読み、「どうして〜するか、いや〜しない」と訳す。

(10) なからんや

独り同じく然りとする所無からんや (どうして同じくそうだと思えるところがないだろうか、いやあるはずだ)

独〜乎は、反語の句法。「ひとり〜んや」と読み、「どうして〜か、いや〜でない」と訳す。



【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

「はかなし」の意味は？
(A) 緑の (B) 気むずかしい (C) 気力にあふれた (D) つまらない